

名古屋学院大学同窓会

第12回 ホームカミングデーのご案内

入場料 無料

日時 11月3日(祝)午後12時より2時まで
場所 名古屋学院大学「思星館」(第2食堂)
〈チャペル前の建物です〉

毎年、文化の日に行われるホームカミングデー。

今年も紅葉の季節、11月3日(祝)に空気がおいしい品野台にて開催いたします。このタイミングには大学祭も開催され、キャンパスは多くの若者で賑わいます。

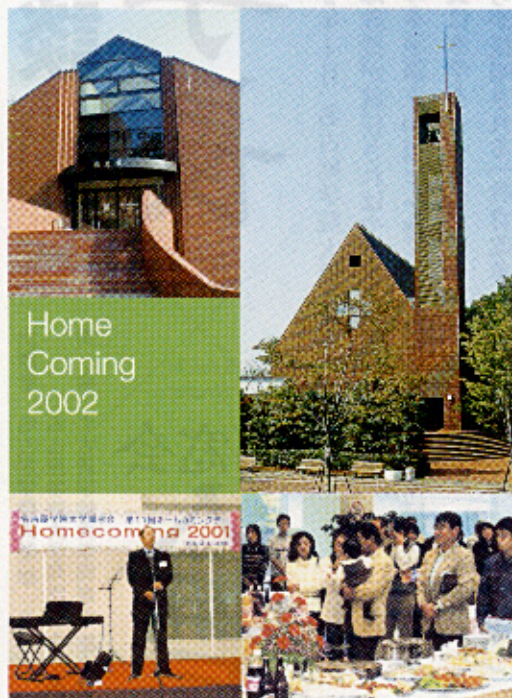
自然の香り、そして若者の活気。名古屋の都心からいざさか遠いでしょうが、時間をかけて、このキャンパスに踏み込んでこそその魅力です。

何かとイベントの多い時期ですが、是非とも参加の計画を立ててみませんか? もちろん、ご家族や同窓生の方々の誘って一緒にご参集ください。立食パーティー形式ですから、少しも堅苦しい催しで

はありません。楽しい1日を過ごしていただけることを約束いたします。

当日は楽しいイベントが盛り沢山です。また、本学各クラブの活躍を讃えての「クラブ表彰」も併せて行われます。

なお、この機会に各クラブ・サークル、そしてゼミナールのOB・OG会の開催を募っております。同窓会もホームカミングデーはもとより、同窓生の皆様がお互いにあたためたいコミュニケーションを図れるよう、さまざまな取り組みを積極的に実行してまいる所存です。是非とも多くの方々にご参加いただきたい、ご案内申し上げます。



Home Coming 2002

ホームカミングデー主な行事

- 「ハーさんバンド」によるオールディーズ演奏
- 優秀クラブの表彰式
- OB・OG会の開催
 - ・大西ゼミナール ・ラグビー部
 - ・バレーボール部 ・ワンダーフォーゲル部
 - ・他、各部・各ゼミナール

※尚、当日の午前10時～午後3時まで、陶芸館にて「陶芸館祭」が開催されます。ろくろ体験や指導もしていただける様です。こちらも入場料等は無料です。お気軽にお立ち寄りください。

名学大祭「パズル」のご案内

期間 11月1日(金)～11月4日(祝)

名古屋学院 大学同窓生の皆様、今年も名学大祭の季節が近づいてきました。

第38回を迎える今回の大



学祭のメインテーマは「パズル」です。大学祭を通じて、学生・学校・地域・社会が一つのピースとなり、大学祭というパズルを作り上げていこう、という意図で考えました。

左記のタイムテーブルにありますように、昨年以上の盛り上がりをもとに、思いで、各々のイベントを企画しました。「ホームカミングデー」の前後を利用して、同窓生の皆様には是非とも参加いただきたい、ご案内申し上げます。

名古屋学院大学 大学祭実行委員会

全日	学内スポーツ大会
10:30～	オープニング企画
12:00～	JAZZ研究会演奏
12:40～	放文企画1
14:30～	吹奏楽部演奏
15:20～	放文企画2
10:30～	放文企画3
11:50～	瀬戸子供太鼓 「こまいぬ座」公演
12:40～	子供企画
14:00～	講演会
15:20～	放文企画4
10:30～	一般企画
12:30～	愛知万博企画
13:50～	鳴子踊り
15:20～	トークライブ
17:00～	後夜祭

主な行事

11月



対談

学長

Tatsuro Mochida

Kenichi Urabe

同窓会 会長

出席者 名古屋学院大学学長 持田辰郎
名古屋学院大学同窓会会長 占部憲一
司会 名古屋学院大学同窓会副会長 下村直己

2002年4月、名古屋学院大学の新学長に

持田辰郎教授が就任されはや半年を経過しました。

再来年の本学創立40周年を控え、さらなる飛躍が期待される今、

持田学長は本学をどう導いていこうとされているか。

学長自らが提唱される「教育改革」とは？

これらをテーマに、持田学長と占部同窓会会長に
対談していただきました。

学生や社会が求める

大学を目指して、今こそ「教育改革」

名古屋学院大学学長として、今後どのような大学にしていきたいとお考えですか。

持田学長(以下持田に略)「私は学長に就任した当初から『教育改革』の必要性を提唱してまいりました。名古屋学院大学に求められている本質は、教育です。学生諸君を文字通り教えることが本学の使命であります。本学創立からこれまで、一貫して教育の在るべき姿を追求してきましたが、昨今この方針を変えていかざるを得ないくらい学生諸君の価値観が変わってまいりました。単位を取得して卒業するという、従来型大学生のスタイルにこだわらない学生が急速に増えているように思えます。関心のある事には取り組むが、そうでない事には興味を示さない現代の若者像とでもいましょうか。そんな氣質が垣間見えます。若者の考え方が急速に変わつてい

くのであれば、私たち大学側も教育内容を含めて、その在り方を変えていく必要があります。今の学生が大学に対して求めていることを理解し、それに合った教育を是非行っていきたい。そういう意味でこれまでの大学教育からの脱却。教育改革が必要だと考えています。

占部会長(以下占部に略)「今の学生が単位取得や卒業に対するこだわりが希薄になっていくという点の他に、どこが変わったと感じられますか。」

持田「これまでの概念では大学生とはいわば大人である、という図式が成り立っていましたが、今の学生はこの流れに当てはまらなくなってきました。例えばカリキュラムの内容も含めて、学生一人一人が大学で学ぶことに興味を持ち、理解し、勉強する意義は何か納得できるようなこちら側から明確に指導していかなければ、なかなかついて来てくれない。そういう面がまっつきりと出てきています。だから、教育改革を必要なのです。今申し上げた意義を納得さ



せられたら、私たちの想像以上に勉学に励んでくれますね。」

占部「確かに勉強する内容を理解した上で講義を受ける場合と、そうでない場合では学ぶ面白さや楽しさにも雲泥の差が出てくるでしょうね。今後、カリキュラムの内容も変わっていく可能性はあり得ますか。」

持田「結果的にはそうなっていくだろうと思いますが、当面の第一優先は大学生生活のスタート時点で、学生諸君が「学ぶ喜び」を持てるようにしてあげるシステムづくりに力を注いでいます。わからなかつたことが理解できる。学ぶことは本来楽しいはずなんです。確かに学校教育は採点をつけ、成績を出さなくてはいい

ない。この点がある意味で勉強をつまらぬものに感じさせてしまう側面を持つことは否めません。しかし、私は大学教育にはある種の面白さがあると考えています。忘れかけた「学ぶ喜び」をさまざまな形で学生に提示していきたいですね。勉強の楽しさ、学ぶ喜びをわかち合ってもらえたら、各人がどんな進路を辿ろうと、どんな局面でも自分で勉強していけるだろうと確信しています。私は本学からそんな卒業生を輩出したいのです。」

持田「米年度から、学生が入学した時点での導入教育を本格的に始める予定です。各学部学科ごとにオリエンテーションを行う段階で、講義内容はもちろん、私たちが用意したカリキュラムが何の目的で組まれ、勉強してもらったことによつてどんな知識が得られ、また社会人になった時にそれがどう役立つのかを考えてもらいます。実学的な部分を学生が理解した上で勉学に取り組めるかどうかで、学ぶ姿勢も大きく変わるはずですが、全体の把握ができていないまま、いきなり各論を勉強してもなかなか難しいものがあります。例えば経済であれば、4年間勉強して最後の段階で「経済とはこういうものだったのか」とわかるという話をよく耳にします。これではいけないと、そこが出発点でした。」

AO入試の「生みの親」として

「今のお話を聞いているとAO入試のことを思い出しました。持田学長は入試部長時代、本学にAO入試を導入した「生みの親」でもあります。何をきっかけに始められたのでしょうか。」



持田学長

持田「発想自体は実にシンプルです。入学試験の意義を突き詰めて考えた時に、その本質は大学の授業についていけるかどうかを判定するために使うものであると。ペーパーテストや内申点で、それを推し量ること以外にどんな方法があるのかを考えた結果、導き出されたのが受験者に大学の授業を体験してもらい、その学ぼうとする姿勢を判定した方がわか

ご挨拶



名古屋学院大学
理事長
内山道明

名古屋学院大学同窓生のみならず各界でますます活躍のご声からお喜び申し上げます。また、日頃同窓会の運営に当たられておられます会長をはじめとして役員のみならず、ご努力に心から敬意を表します。みなさまにおかれましては、すでに承知のとおり、本学も38年の歴史を重ね、今日では大学院と研究科・1通信教育課程、3学部5学科が開設され、学生数も5000名を超える中堅大学として位置づけられるようになってまいりました。

昨今の教育環境は私学にとつて、きびしさを増しており、経営努力ならびに教育充実策を教職員あげてはかっているところです。

同窓生のみならず、ご力強いご支援をお願い申し上げます。

ぬいという訳なのです。AO入試の主旨には二つあって、一つは大学側が今言ったことを判定するため、二つ目は受験生自身が志望する学部学科でどんな内容の勉強をするのか体験してもらい、それがわかった上で入学してもらえらるということなのです。これは大学、受験生の双方にきっちりしたコンセンサスができるという利点が大いいですね。」

占部「本学のAO入試は、受験生が大学の授業をある程度理解した上で入学できるので、受験の方法論としては、良い選択肢の一つですね。確かに大学で取り組む勉強の古写真が明確に見えるので、良い方法だと思います。」

持田「本学のAO入試は、受験者全員に4日間に渡る12コマの授業と学内行事に参加していただき判定する制度ですから、書類選考や面接に主眼を置きがちな他大学のAO入試とは性格や手法が異なります。高校側からも良い評価をいただいています。現在、AO入試で入学する学生の比率は20%弱くらいですが、今後ももう少し増やしていきたいと考えています。」

占部「先程お話に出た入学時の導入教育やAO入試といい、私たちが本学に入学した頃とは授業の内容も方法かなり様変わりしてきたなというのが実感です。私自身、入学した時に、原論など難解な講義タイトルを目にして、やけに難しそうな名前だなど(笑)。もう少しわかりやすい副題が付いているのもっと興味を湧くのに、と思ったことを覚えています。」

「講義タイトルのお話が出ましたが、来年度は商学部に新学科を設立されるそうですね。その名前と内容を教えてくださいませんか。」

持田「新学科名は「情報ビジネスコミュニケーション学」です。学科内には「経営情報コース」と「ビジネスコミュニケーション」の2コース



占部会長

スあります。社会の経済の状況やIT技術の進展、企業ニーズ変化など様々な局面を見据えて、文系大学の中では最先端の教育を行っていきたくですね。本学が目指す「語学に強いビジネスマン」を柱に、コンピュータに強く、語学にも強い学生の育成を考えております。」

占部「私たち社会人からすると、そんな頼もしい学生を育てていただけるとは大変ありがたいですね。企業が欲しているのは社会に通用する即戦力ですから、今のようないろいろな経済情勢の中でも確実に社会や企業から求められる人材を是非送り出してください。大いに期待しています。」

社会人生涯教育にも積極的に「さかえサテライト」の果たすべき役割

「本学には大学院、そして社会人教育の場として「さかえサテライト」があります。生涯教育の観点から、どのような取り組みを考えられているか教えてくださいませんか。」

持田「大学とは、学生のみを対象にした教育を行う機関ではなく、より社会に開かれた存在であるべきだと思います。キャリアアップが目的で勉強をされる方、自己の視野を広げるためにさらなる知識の習得を目指す方など様々な目的をお持ちの皆様を評価していただける社会人生涯教育の場を作ってまいりたいですね。それらのニーズにしっかり満たすためにも、今後の方向性を学内でしっかり議論して具体化していきたいと思っています。社会人生涯教育への取り組みが社会貢献になる、そんな形を目指しています。」

占部「例えば、自己啓発セミナーやビジネスセミナーなども開講していただけると私たち社会人としては嬉しいですね。是非聴講しなくてはと思いますので、そちらの方向性も検討していただけるとありがたいと思います。」

持田「いろいろな可能性を包括的に含めて考えてまいりたいと思います。」

変わるモノ、変わらないモノを明確に

「最後に、学長から同窓会に要望したいことがあれば教えてくださいませんか。」

持田「先程から私は本学の「教育改革」を中心に、名古屋学院大学が変わっていくというお話をお話をさせていただきました。私から同窓会の皆様へお願いすること、それは変わっていく本学に暖かいご支援を賜りたいことはもちろんですが、変わらないモノを一緒に守っていただきたいと思えます。それはキリスト教主義が根底に流れる「校風」であり、諸先輩方から現在の学生まで脈々と受け継いできた本学の校風を維持していくためには、やはり同窓会の方々と暖かいつながりが大切ですね。こちらの面でも是非皆様のご支援を賜り、本学をさらに発展させていけるよう心からお願ひ申し上げます。」

占部「職務の中、いろいろ多岐に渡ってお話しいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願ひいたします。」



Profile

名古屋学院大学 学長
持田辰郎

1952年生まれ 高校出身
東京大学文学部卒業
1982年 本学経営学専攻科に教授
1983年 本学に就任
2002年 名古屋学院大学 学長に就任
●研究分野 西洋近代哲学

活躍する同窓生

経営者は ゴルフ界の 指導者

株式会社泉製作所 代表取締役社長 泉憲一氏



一人の“伝説的人物”の活躍が、本学ゴルフ部に今も語り継がれています。その人物の名は泉憲一さん。昭和46年卒業。泉さんは在学中からゴルフの非凡な才能を開花させ、4年生時には中部学生選手権優勝、卒業後は日本オープンでベストアマに輝くなど、数々の栄冠を手に入れました。現役を退かれた今、会社経営者と日本ゴルフ界の指導者として、2つの顔を持ち活躍されている泉さんをご紹介します。



「日本オープン」にてベストアマの栄冠を手に入れた泉さん。(昭和50年)



ゲバ棒よりクラブを持つ

泉さんがゴルフを始めたのは大学1年生の夏、学生運動が激化していく最中の昭和42年。きっかけは、ゴルフに熱心だった父親の「ゲバ棒振り回すよりクラブを持つ」の一言。当時まだ同好会であったゴルフ部に入学した。父親の勧めで始めたゴルフは天賦の才と絶えまない努力を糧に、メキメキと上達。2年生で中部学生選手権の新人戦優勝、2年・3年は主将を務め、4年生では中部学生選手権優勝を成し遂げる。

卒業後はバインダー専業メーカーとして、国内トップクラスの実績を持つ、家業の泉製作所に籍を置きながら活躍を続け、昭和50年には日本オープンのベストアマに。他にも中部アマ、中部オープンにおいてベストアマに輝いている。31歳で現役を引退するまでアマチュアゴルフ界にその名を轟かせた。地元三好カントリー倶楽部ではコースレコード66を打ち立て、この記録は未だ塗り替えられていないという。もちろん、泉製作所の社員として仕事を平行しながらのこと、両立させるのはかなり大変だったに違いない。

経営者として、ゴルフ界の指導者として

43歳で泉製作所の代表取締役に就任。この頃より、泉さんは会社経営者とゴルフ界の指導者という二つの顔を持ち、

履くことになる。中部ゴルフ連盟競技委員、ジュニア育成委員を歴任。また、日本ゴルフ協会のナショナルチーム監督を今も務めるなど、お世話になったゴルフ界への恩返しも忘れていない。

現在はゴルフ場運営にも携わる。三好カントリー倶楽部常務理事、三好カントリー倶楽部理事を務め、指導する立場、運営する立場からゴルフ界の発展を支えている。社業と合わせてゴルフ界での活動を合算すると、時間が365日では足りない程多忙を極めていく。

ゴルフで培った決断力が財産

ゴルフで培った最大の財産が、自分の考えをすべて行動する「自己判断力」の大切さを学んだことという。「ゴルフも経営も一緒。上級者になればなるほど、自ら考え、自ら行動しなければならぬ」……かつて父親より贈られた言葉が今、人生の財産になつていくと語る泉さん。

本学ゴルフ部の「伝説的人物」は、会社経営者、ゴルフの指導者、そして日本ゴルフ界発展の牽引者となった今も、学生時代そのままのバイタリティーとゴルフへの愛情を胸に活躍し続けている……。

活躍する同窓生募集!



名古屋学院大学同窓会会報「ngudo.com」では、各分野でご活躍される同窓生の方々情報を募集しています。お知り合いの同窓生で、「この人は」と思われる方がいらっしゃれば、是非同窓会事務局までご一報ください。電話、FAX、同窓会ホームページへの書き込み、どちらでも大歓迎です。ホームページへの書き込みは、トップページの「DO BOX」をご利用ください。

■名古屋学院大学同窓会事務局
☎052-242-6444 FAX 052-242-6445
◎同窓会ホームページ
<http://www.ngudo.com>



VOLLEY BALL
バレーボール部
バレー部長・監督 坪田暢允

初の快挙！ 東海リーグ優勝

卒業生の皆さん、その後お元気で過ごしていることと存じ上げます。昭和42年に名大に就職して以来バレー部長、監督をしている坪田です。

さて、このたび平成14年度、第11回東海大学男子バレーボールリーグ戦(春季大会)一部において、バレー部は初優勝の快挙を飾りました。これは、大学開設以来、個人種目を除いたクラブにおいて、東海リーグで優勝したのは初めての経験です。バレーボール部は水・土曜日以外は夜に練習をしており、地道な努力が実を結んだものと思われれます。これは部員の努力ももちろんですが、スポーツ推薦制度ができてから、その効果がやがて現れてきたものと思われれます。お蔭様で有力な選手(インターハイ出場)が多く集まり、試合を重ねる度に、強くなっていくといったパターンで、最終戦愛院大との優勝決定戦はフルセットの末、見事破り優勝を飾りました。部員一同たいへん喜んでいますが、外部に名古屋学院大学の存在を示した功績は、評価に値するものと思われれます。

東海地域にお住まいの卒業生も新聞記事ではご存知である方があると思いますが、試合を重ねる度に勝ち進み、たいへん小気味よく感じられたのではないのでしょうか。バレー部は昨年の秋に部に復帰し6位でした。しかし、この春では拳に優勝という栄えある勝利を得たことは、驚異に値するものと思われています。リーグ戦はまず8チーム総あたりで6勝1敗が3チームとなり、本学はセプト率で2位でした。その後、強豪上位4チーム(愛院大・愛大・中京大)のリーグ戦で全勝し見事優勝を成し遂げました。反田(主将)君を中心にまとも、非常に攻守のバランスが取れたチームとなっていました。特に反田君は再優秀選手賞と猛打賞を獲得し、東海はもちろん全国でも指折りのスパーアタッカーとして活躍をしてくださいました。バレーボールで豊田工業に就職が内定し、卒業後も実業団のバレーで活躍すると思います。この春のメンバーがそのまま秋季リーグに望むので、2連覇の可能性も出てきています。しかし、他大学も本大学を打倒しようとするので、部員一同気を引き締めて、練習に励んでいるところです。また、7月6日に名古屋市内のホテルでバレー部優勝祝賀会を催し、来賓、理事会、父母会、同窓会、部員の両親、教職員の方々の参加を得て、盛大に行われたことを付記しておきます。今後とも卒業生の皆さんのご健勝とご多幸をお祈りしています。



テクニカルスタッフ強化 躍進への挑戦

東海学生ラグビーリーグは、長い間中京大、名城大の二校で優勝争いをし、他の大学の追随を許していませんでした。名古屋大ラグビー部は、創部三年目でAリーグに昇格し、10年間ほどはAリーグで戦いましたが、その後しばらく低迷時期が続いていました。

10年前に、創部以来の丹羽監督が勇退され、81Eの中川誠氏が監督に就任し、1995年にBリーグへ。1998年に、念願のAリーグへ昇格を果たしました。

打倒中京大、名城大そしてリーグ優勝を果たすことを次の目標に置き、練習を重ねてまいりましたが、Aリーグの壁は厚く、なかなか上位には進出できませんでした。

しかし、昨年OBの紹介で、トヨタ自動車の現役を引退したばかりの朽木泰博氏をテクニカルディレクターとして招聘し、土曜日に指導を受け、なんとか上位と互角に戦える実力がついてまいりました。

昨年のリーグ戦では、名城大を35対27で破り、中京大には19対22で惜しくも敗れ



ましたが、愛知学院にも勝ち、あて、つ勝てば2位となり、全国地区対抗に出場できるところまで参りましたが、愛工大、朝日大と続けて星を落とし同率3位という結果となりました。

本年からは、朽木氏に加えて、今年でトヨタ自動車の現役を引退した元全日本のキャプテンでスクラムハーフの大原勝治氏にもテクニカルアドバイザーとして指導に加わっていただくこととなり、全国の大学と比べても遜色のないスタッフとなつたと自負しております。

二人とも三十歳前後の若さで、指導力はずっとより、ラグビーに賭ける熱き思いは、部員たちの心を強く惹きつけ、チーム躍動の原動力となるものと確信しております。

大学のご理解と、岡田ラグビー部部長のお首折りで、時17名まで減少した部員が、現在は57名となり、「スピード&クオリティー」の今年のテーマに秋のリーグ戦に向け、痛く苦しく、つらい練習を続け、目標達成を最高の喜びとして、血と汗と涙を品野台のグラウンドに流し続けています。

彼らのためな努力と情熱で目標が達成できるものと信じています。



RUGBY
ラグビー部
名古屋学院大学ラグビー部OB会 副会長
71E 田中和行

●ngudo.com 主なコンテンツ



A

ホームカミング2002

今年、11月9日(日)に開催される「ホームカミングデー」の詳しい内容をご案内しています。



B

アドレス入力ページ

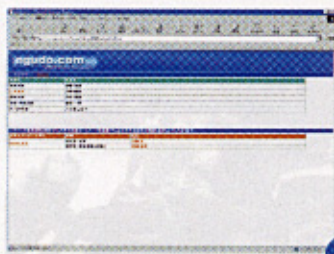
同窓会事務局に、あなたの最新情報(住所変更、電話番号の変更、メールアドレス)が簡単に登録できます。入力フォームに従い必要事項を書き込むだけ、複雑な事務手続きはありません。



C

品野台コネクション

個人や大学のサークル、OB会、会社のホームページ等をリンクしています。リンクを希望される方は、アドレス入力ページからお申し込みいただけます。



D

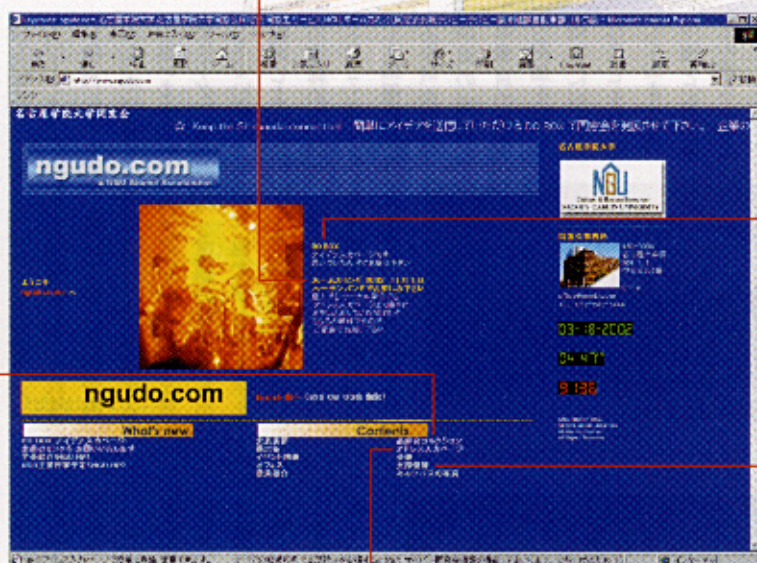
支部情報

関東、三重、関西、中国・四国の各支部及び各県サイバー同窓会のメールアドレスを掲載しています。

双方向コミュニケーション

ngudo.com

<http://www.ngudo.com>



A

E

C

B

D

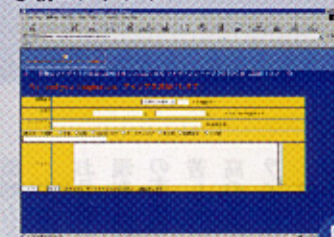
同窓会独自のホームページ“ngudo.com”が、開設3年目を迎えました。約3万人の同窓生の皆様に同窓会の活動をネット上でお知らせするとともに、ホームページを同窓生交流の場として有効利用していただきたく積極的に運営を行っております。

現在、ゼミやクラブ及びサークルのOB会が活動報告・情報交換・会合の伝言板などにご活用いただいております。特に、同窓生の皆様から寄せられる情報・ご意見等を頂戴する「掲示板」には、今後の同窓会運営に対する指針ともなり得る貴重なご意見・アイデアが寄せられ、事務局一同感謝にたえません。

そこでこの度、さらに同窓生同士または同窓生と事務局、それぞれ双方向コミュニケーションを一層円り、より結びつきの強い絆づくりを目指すべく新たに「DO BOX」を設けました。皆様の多彩なアイデアを頂戴し、同窓会運営に反映するための“アイデア入力ページ”として、気軽に書き込みを賜りますようお願いいたします。

「あなたのアイデアが明日の同窓会の礎になる」、そんな開かれた同窓会ホームページを今後も皆様と作って参りたいと思います。

●新コンテンツ



E

DO BOX New

「支部」「会報」「ngudo.com」「ホームカミング」「事務局」「代議員会」「その他」の7項目の題名の中から1つお選びいただき、あなたのアイデアやご意見を書き込んでください。何を投稿しても自由です。

加藤千磨 名古屋銀行頭取に 名誉経営学博士の学位を授与

名古屋学院大学の経済経営研究科に博士後期課程を設置して満5年となりますが、その完成年度末の2002年3月に、本学「名誉学位規程」にもとづく初めての「名誉経営博士」の学位が、名古屋銀行 加藤千磨（かとう ちまろ 64歳）頭取に授与されました。深い学識と経験を持ち、社会・文化の発展に貢献し、また、本学の研究および教育に著しく貢献が学位授与の理由となっております。加藤千磨頭取は、名古屋銀行頭取のほか、中部経済同友会代表幹事、第二地方銀行協会会長、全国銀行協会副会長、中部経済連合会常任理事など主に経済活動を中心とした社会・文化に多大な貢献をされています。

本学では第1号となる名誉経営学博士の授与式は、2002年3月29日（金）午前11時からチャペルで挙行されました。授与式では、学長、研究科長の式辞ののち学位記ならびに記念品が授与され、理事長から祝辞が述べられました。加藤頭取からは、地域社会、経済にさらに貢献していきたいとの謝辞が述べられました。

名誉経営学博士の学位授与式



大学内のボランティアセンター

名古屋学院大学に ボランティアセンターが開設

今年の春、本学総合研究所1階に「名古屋学院大学ボランティアセンター」（以下「ボラセン」とよぶ）が設立・開設されました。このボラセンとは、ボランティアを希望する学生とボランティアの受け入れ団体との架け橋的な役割を担うとともに、実際のボランティア活動を組織的に行うことを目的としています。

すでに多くの学生がボラセンに登録（4月末で56名）しており、窓口業務を始め、具体的活動として、①本学近くの知的障害者厚生施設「まゆ」での英会話教室など定期的交流、②知的障害者の父母会とその子どもとの交流、老人ケアハウス「聚楽」での交流などで活発な活動として始まっています。

大学では、このボラセンを特色ある大学教育の環として捉えており、その活動を通じて、多くの学生に社会公益的な活動への参加や地域社会との交流を促し、彼らが社会の担い手としての視点を育み「学ぶ喜び」を体感することを期待しています。

また、2005年にはこの地域で国際博覧会は開催されます。そこで、万博開催時には、このボラセンが核となって多くの学生に対してボランティア・市民参加の情報を提供するとともに、コーディネーターとしての役割が担えるような組織に育っていくように見守ってまいります。

商学部「情報ビジネス コミュニケーション学科」を新設

本学商学部は2003年4月の開設をめざして「情報ビジネスコミュニケーション学科（以下「情報B.C学科」という）の設置申請をしましたが、文部科学省から正式に認可されました。これで商学部は商学科（入学定員180名）と情報B.C学科（入学定員120名）の2学科となり、本学は3学部6学科となります。

情報B.C学科では、経営情報コースとビジネスコミュニケーションコースの2つのコースが用意されており、経営情報コースでは、「コンピュータに強いビジネスパーソン」「ビジネスを知り尽くしたIT技術者の育成を」ビジネスコミュニケーションコースでは、「豊かな国際性をそなえたビジネスパーソン」の養成をそれぞれ目的としています。

また、これまでの商学科もマネジメントコース、ファイナンスコース、会計コースと3つのコースに改められ、さらに実学重視のキャリアラムとなり、インターンシップや資格取得のための科目も配置されます。

情報B.C学科の学生募集については、すでにAO入試を終え、これから推薦（指定校・一般）2般へ入試本番へ突入することになります。多くの受験生が新しい情報B.C学科ばかりか本学全学部・学科への関心が高まるよう期待したいものです。

名古屋学院大学外国語学部 大西ゼミ「同窓会のお知らせ」

第一回大西ゼミ同窓会を左記の通り、同窓会「ホームカミングデー」に併せて開催いたします。旧交をあたため、楽しいひとときを過ごしましょう。是非ご参加ください。
日時 11月3日(祝) 午後12時～
同窓会「ホームカミングデー」懇親会
大西ゼミ同窓会 午後3時～

場所 名古屋学院大学「思星館」(第2食堂)
大西ゼミ
[96F] 田中友成 [97F] 三田村直毅
同窓生代表 [97F] 村田良平 [97F] 岡田英福

祝東海リーグ初優勝 バレーボール部「クラブ表彰」

本学バレーボール部が、第113回東海大学男子バレーボールリーグ戦(春季大会)において初優勝を飾りました。個人種目を除いたクラブで、東海リーグにて優勝の栄誉に浴したの初め、この快挙を祝して、11月3日(祝)の同窓会「ホームカミングデー」内においてクラブ表彰を行います。後輩の活躍を讃えるべく、OBの皆様のご参加をお待ちしています。

名古屋学院大学 「教育振興資金」募金にご協力を

各位各位には、益々隆昌のごとにお慶び申し上げます。

この度、名古屋学院大学から本同窓会に対して、「教育振興資金」の募金活動について協力依頼がございました。今回の募金の趣旨は同封されています。「募金趣意書」に述べられていますが、大学は厳しい財政状況下の中にあるけれども、教育環境の整備・充実が大学発展の条件であるとし、それらの事業資金の一助として「教育振興資金」の募金活動を行いたい。ついでには、理解と協力をお願いしたいとの内容でありました。

つきましては、各位各位におかれましては、厳しい経済環境にあるとは存じますが、母校発展のために募金の趣旨に深いご理解をいただき、出来る限りで結構です。ご協力いただきたくお願い申し上げます。次第です。
各位各位
名古屋学院大学同窓会 会長 〃 〃

●同窓会終身会員について

同窓会では、学生、卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入会金・会費で運営されております。最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営にご協力頂けるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、平成8年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入して頂いた方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないということとなっております。

現在毎年2千円の年会費の請求をさせて頂いておりますが、皆様方も是非この機会に終身会員となつて頂くことをお勧め致します。

なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので宜しくお願致します。

●年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりした財源が必要です。なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。会費は、同封の振込用紙をご利用の上、二口以上のお振込をお願い致します。

●年会費二口 2,000円 ●終身会費 1万円以上
既に終身会員の方は不要です。

●支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催しています。お問い合わせは左記へお願いします。ホームページ上でも、各支部の連絡事項等をご覧いただけます。

関東支部

T167-0041 東京都杉並区番付寺3-1-122
TEL03-3397-1873
榊原金市(70年卒)

三重支部

T519-0413 三重県度会郡玉城町妙法寺345-1
TEL0596-5-2191
中野隆日(71年卒)

関西支部

T544-0025 大阪市生野区生野東1-1-37
中川博則(68年卒) TEL06-712-3574
(中川登記測量事務所内)

中国・四国支部

T712-8003 岡山県倉敷市水島明神町2-4-6
藤原一政(71年卒) TEL086-444-15252

●新たに2支部開設準備中

北陸・静岡支部

同窓会事務局では、新たに北陸(石川・富山・福井)支部、静岡支部の設立を準備しています。現在、支部長及び役員に就任していただける同窓生の方々を募集中です。自薦他薦を問いません。たくさんの方の立候補をお待ちしています。

●住所変更届けのお願い

同窓会事務局では、同窓会員の皆さんに同窓会会報等の配布物を定期的に送付しておりますが、住所不定による郵便物の返送がかなりの数発生しております。現住所より転居される場合、同窓会事務局までご連絡頂くか、同窓会ホームページの「アドレス入力ページ」にて変更して頂きますようお願い致します。また、知り合いの同窓生で転居された方をご存じの場合も、同様にご連絡頂きますようお願い致します。

連絡先

名古屋学院大学同窓会事務局
T460-0008
名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階
TEL052-242-6444
FAX052-242-6445

※同封の住所・勤務先等変更ハガキをご利用ください。
同窓会ホームページアドレス <http://www.ngudo.com>

●同窓会員の皆様にご注意を

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話で尋ねてくる事があるようですが、同窓会では一切そのような事はしておりませんので、ご注意ください。